

2020東京五輪・パラリンピック競技大会

サーフィン競技会場提案書



千葉県外房地域一宮町・いすみ市

日本のサーフィンの聖地、千葉県一宮町・いすみ市に 東京五輪・パラリンピックのサーフィン会場を！



選手村（有明）から；車で1時間
東京から；車・電車で1時間
成田・羽田から；車で1時間



九十九里有料道路一宮インターから

一宮海岸まで 1 km 車で 3分

釣ヶ崎海岸まで 6 km 車で10分

アクアライン～圏央道市原舞鶴インターから

釣ヶ崎海岸・太東海岸まで

27 km 車で40分



JR上総一ノ宮駅から

一宮海岸まで 3 km 車で 7分

釣ヶ崎海岸まで 6.5 km 車で12分



メディアセンターとして、
既存施設の利用が可能

ホテルー宮シーサイドオーツカ アルファプラザ



フェニックスホール



中会議室



小会議室

千葉県一宮町・いすみ市で開催することのメリット

① 世界レベルの波

一宮・太東海岸は毎年80万人を超すサーファーが訪れており、その内東京から40%、神奈川県から10%の人が来ています。その大きな理由は、この地域の波の力は世界レベルにあるということです。一宮海岸・太東海岸は、日本のサーフィンのメッカであり、この歴史を踏まえ、当地域のサーフィンは盛んになってきました。2015年7月29日のアメリカで行われたサーフィンの世界ビッグイベント『USオープン・オブ・サーフィン2015』に最年少で日本人として初優勝を遂げた一宮町出身の大原洋人選手は、言っています。「一宮海岸の波は、カリフォルニアの波に似ている。」

アメリカのカリフォルニア海岸は、世界でも最高レベルの波で、USオープンが行われている海岸であり、その波に似ているという大原洋人選手の言葉を借りれば、一宮町・いすみ市には、年間80万人を超すサーファーがきていることも、そして神奈川県からもサーファーが来ていることも納得がいきます。



千葉県のサーフィン発祥の地

現在の形式の日本でのサーフィンの発祥の地は、いすみ市の太東ビーチと言われており、いすみ市周辺の環境は一年を通して波に恵まれ、多くのプロサーファー、トップアマチュアサーファーがしのぎを削る日本屈指のハイレベルなエリアでもあります。

毎年、太東ビーチパーク、三軒屋海岸において平成15年から『サーフタウンフェスタ』というイベントを12回実施しており、歴史を持つイベントであり、各種ステージでのダンスなどの催し物や、チャリティー販売、飲食店等の出店、津波を想定した避難訓練や海難救助訓練などイベントを通して、波に乗ることの楽しみ、サーフィンを楽しむ環境やライフスタイル、サーフタウンに通う楽しみ、サーフタウンで暮らす楽しみを発信しています。

また、サーファーやビーチにいる人への視覚的な注意喚起となる「オレンジフラッグ」の導入なども行っています。



② コンスタントな波

世界レベルの波は1年を通してコンスタントにあります。

サーフィン大会は限られた日数で行われるので、コンスタントに波が必要となります。



③ サーフポイント数の多さ

大会を成功させるためには、あらゆる天候に備え、サーフポイントを多く備える必要があります。

南九十九里に位置する一宮町・いすみ市には東浪見ポイント、志田下ポイント、太東ポイントなど多くのポイントがあります。

通常、一宮町釣ヶ崎海岸からいすみ市太東海岸に行くにつれ、波は小さくなっていきます。台風時、釣ヶ崎海岸の波が高くなっても、太東海岸の方に行けば、波は小さくなり、台風時でも大会はできます。



メイン会場とサブ会場が近いため悪天候にも対応可能!!!

世界最高峰の大会（WCT）の開催実績は千葉県が1位
（一宮町では過去6回の実績あり）

④ 世界大会の実績

数多くのサーフィン世界大会を開催しており、全日本級の大会も入れると数え切れないほどの実績があり、世界大会を行う経験、人材、警備体制を兼ね、備えています。



《世界大会開催実績》

(1) WCT : World championship Tour

【男子48人、女子17人の中から世界チャンピオンを決める世界最高峰の大会で年間男子11回、女子10回行われ、下位15人がWQSに落ちます。】

西暦	年号	大会名	主催者	来場者数	備考
1995	平成7年	WCT	WSL (世界サーフリーグ)	100,000人	
1996	平成8年	WCT	WSL (世界サーフリーグ)	100,000人	
1997	平成9年	WCT	WSL (世界サーフリーグ)	100,000人	
1998	平成10年	WCT	WSL (世界サーフリーグ)	100,000人	
1999	平成11年	WCT	WSL (世界サーフリーグ)	100,000人	
2005	平成17年	WCT	WSL (世界サーフリーグ)	100,000人	

(2) WQS : World Qualifying Series (2003 年以降)

【WCTの参加資格を得るため毎年45回行われ、各自ベスト7のポイント合計上位15名が翌年のWCTの出場資格を得られます。】

西暦	年号	大会名	主催者	来場者数	備考
2003	平成15年	千葉プロ3STAR	WSL (世界サーフィン)	4,000人	
2004	平成16年	千葉プロ2STAR	WSL (世界サーフィン)	4,000人	
2005	平成17年	千葉プロ2STAR	WSL (世界サーフィン)	4,000人	
2006	平成18年	千葉プロ3STAR サーフタウンフェスタロングボード	WSL (世界サーフィン)	8,000人	
2007	平成19年	千葉プロ2STAR サーフタウンフェスタロングボード	WSL (世界サーフィン)	8,000人	
2008	平成20年	オークリープロジュニア サーフタウンフェスタロングボード	WSL (世界サーフィン)	8,000人	
2009	平成21年	オークリープロジュニア サーフタウンフェスタロングボード	WSL (世界サーフィン)	8,000人	
2009	平成21年	ビリン釣ヶ崎プロ4STAR サーフタウンフェスタロングボード	WSL (世界サーフィン)	14,000人	

西暦	年号	大会名	主催者	来場者数	備考
2010	平成22年	ビラホ ^ン 釣ヶ崎プロ4STAR サーフタウンフェスタロングボード	WSL（世界サーフリーグ）	14,000人	
2011	平成23年	オークリープロジュニア	WSL（世界サーフリーグ）	4,000人	
2011	平成23年	ムラサキプロジュニア	WSL（世界サーフリーグ）	4,000人	
2012	平成24年	オークリープロジュニア サーフタウンフェスタロングボード	WSL（世界サーフリーグ）	8,000人	
2012	平成24年	ムラサキプロジュニア	WSL（世界サーフリーグ）	4,000人	
2013	平成25年	クイックシルバ ^ー オープン4STAR サーフタウンフェスタロングボード	WSL（世界サーフリーグ）	14,000人	
2013	平成25年	GOプロジュニア	WSL（世界サーフリーグ）	4,000人	
2014	平成26年	GOプロジュニア	WSL（世界サーフリーグ）	4,000人	
2015	平成27年	GOプロジュニア	WSL（世界サーフリーグ）	4,000人	

《国内大会開催実績》

(1) J P S A (一般社団法人日本プロサーフィン連盟) (2009 年以降)

西暦	年号	大会名	主催者	来場者数	備考
2007	平成19年	TANY SURF NOSERIDING MASTERS	J P S A	2,000 人	
2009	平成21年	オールジャパン (最終戦)	J P S A	10,000 人	
2011	平成23年	JWMA フォーマニューバーラインカップ	J P S A	10,000 人	
2015	平成27年	第50回全日本サーフィン選手権大会 ブルーエコシステムオールジャパン	J P S A ・ N S A	10,000 人	

(2) N S A (一般社団法人日本サーフィン連盟)

西暦	年号	大会名	主催者	来場者数	備考
1993	平成5年	第28回全日本サーフィン選手権大会	N S A	10,000 人	
1994	平成6年	ジュニアオープンサーフィン選手権大会	N S A	6,000 人	
1995	平成7年	第30回全日本サーフィン選手権大会	N S A	10,000 人	

西暦	年号	大会名	主催者	来場者数	備考
1995	平成7年	ジュニアオープンサーフィン選手権大会	NSA	6,000人	
1996	平成8年	ジュニアオープンサーフィン選手権大会	NSA	6,000人	
1996	平成8年	第5回東日本サーフィン選手権大会	NSA	6,000人	
1998	平成10年	ジュニアオープンサーフィン選手権大会	NSA	6,000人	
2000	平成12年	第35回全日本サーフィン選手権大会	NSA	10,000人	
2001	平成13年	第10回東日本サーフィン選手権大会	NSA	6,000人	
2002	平成14年	ジュニアオープンサーフィン選手権大会	NSA	6,000人	
2009	平成21年	第1回千葉県チャンピオンシップ	NSA	4,000人	
2010	平成22年	第2回千葉県チャンピオンシップ	NSA	4,000人	
2011	平成23年	第3回千葉県チャンピオンシップ	NSA	4,000人	
2012	平成24年	第4回千葉県チャンピオンシップ	NSA	4,000人	

西暦	年号	大会名	主催者	来場者数	備考
2013	平成25年	第5回千葉県チャンピオンシップ	NSA	4,000人	
2013	平成25年	全日本級別サーフィン選手権大会	NSA	10,000人	
2014	平成26年	第6回千葉県チャンピオンシップ	NSA	4,000人	
2015	平成27年	第7回千葉県チャンピオンシップ	NSA	4,000人	
2015	平成27年	第50回東日本サーフィン選手権大会	NSA	10,000人	
2015	平成27年	SHIDASHITA OPEN OF SURFING	NSA公認	10,000人	



⑤ 自然環境の良さ 海の綺麗さ



・豊かな自然環境が残っている。

九十九里浜はウミガメが上陸する最北限、越冬してくる鳥も多い。

・広大な太平洋に面して、海水がきれい。

⑥ 東京からのアクセス 1 時間

東京駅から JR 上総一ノ宮駅まで特急で 1 時間、車でも有明選手村から一宮町まで1 時間、東京からの一宮町までの交通アクセスは、どの交通手段でも1 時間となっています。東京湾アクアラインから首都圏中央連絡自動車道（圏央道）を利用しても、東京からいすみ市まで 1 時間 40 分という距離にあります。

また、一宮町・いすみ市またその周辺の市町村は、温暖な気候を利用しての観光事業を中心としており宿泊施設は数多くあります。

東京五輪・パラリンピックサーフィン競技会場としての交通の利便性と宿泊施設は備えています。

以上、一宮町と、いすみ市が連携をすることにより、オリンピックに適した世界レベルの波と、常時コンスタントにある波、そしてサーフポイントの多さ、また、交通アクセスの利便性と宿泊施設の多さをご検討頂き、東京五輪・パラリンピックサーフィン競技会場となることを要望します。

